

学研都市記者クラブ、京都府政記者クラブ、奈良県政記者クラブ、
大阪経済記者クラブ、京都経済記者クラブ 10：00 同時配信



報道資料

平成29年9月22日
公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
RDMM支援センター

自動運転等の新技術確立に向けた 公道走行実証実験プラットフォームの構築について

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構（けいはんな学研都市（京都府相楽郡精華町）、理事長 柏原康夫）RDMM 支援センターでは、自動運転等の新たな技術がもたらす、より安全で快適なモビリティ社会の実現に向け、これらの技術を実証するため、けいはんな学研都市の精華・西木津地区を中心としたエリアで、各種施設内での走行実験や、公道での走行実験が可能な、「公道走行実証実験プラットフォーム K-PEP」（Keihanna Public road Experimental Platform）の提供を、9月28日より開始します。

なお、詳細な内容につきまして、9月29日、けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）で開催される「京都スマートシティエキスポ 2017」のセミナーにおいて発表します。

1 提供するプラットフォーム K-PEP の形態

けいはんな学研都市 KICK 構内や各種施設内での走行実証実験プラットフォームの提供から始め、充分安全を確保したうえで、限定された公道での実証実験プラットフォームの提供を本年度内に開始する予定です。又将来的には、完全ドライバーレスの公道走行実証実験プラットフォームへと拡張を進めて参ります。

2 K-PEP の特徴

K-PEP は、自動運転等の新技術や新たな交通システムの確立に向け、けいはんな学研都市が有する様々な資産を活かした日本で初めての企業乗合型、住民参加型の公道走行実証実験プラットフォームであり、以下の特徴があります。

- ・多数の企業が共同の設備やインフラを使用して実証実験に参加できる
- ・RDMM 支援センターの各種手続き等に関するサポートを受け、けいはんな学研都市の優れた道路インフラが円滑に活用できる
- ・住民サポーター組織「Club けいはんな」の強力な支援が期待できる

また、この K-PEP は、複数の企業が乗り合い、自由に R&D を行えるもので、けいはんな学研都市が指定を受けている国際戦略総合特区・国家戦略特区と、構造改革特区の 3 つの特区活用や規制のサンドボックス等、更なる規制緩和も要望・実現し、幅広い走行実証実験が可能なプラットフォームづくりを推進してまいります。

将来的には、けいはんな学研都市の新交通システムとして実用化することも視野に入れていきます。

3 具体的実験内容事例（別添図参照）

- ・公道での自動走行実験
 - ・社内外の情報を検知、安全運転支援を行うスマートセンシング実験
 - ・自動走行における複数車両運用検証実験
 - ・カーシェアリングの知的運用検証実験
 - ・新交通システム実証実験
- 等

4 公道走行実験のエリア

けいはんな学研都市「精華・西木津地区」を中心としたエリアで、地元市町村とも連携し住民の理解を得て慎重に検討をしながら進めてまいります。

5 プラットフォーム利用可能者

「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」の会員

（当初参画予定者）

株式会社 ATR-Sensetech、オムロン株式会社、京阪バス株式会社、株式会社 自動車新聞社（L I G A R E）、日本ユニシス株式会社、パナソニック株式会社、日立マクセル株式会社、メルセデス・ベンツ日本株式会社、六甲産業株式会社

【参考】

■ 「RDMM 支援センター」

持続的にイノベーションを創出する連携のハブ（hub）組織で、マーケットを常に見据えながら、サービスを含むものづくりや新事業・新産業創出の加速に向け、企業や大学、公的機関等の連携によるオープンイノベーションを基軸に、研究開発から事業化までワンストップで支援する組織です。RDMM は Research(研究)&Development(開発)for Monodzukuri(ものづくり) through Marketing(マーケティング)の略で、未来社会や市場の予測、マーケティングに軸足を置くことで、研究開発・事業化の加速を目指す事を理念としています。

■「Club けいはんな」

住民によるサポーター組織（自主登録制，登録無料）で、アンケート調査、ワークショップ（アイデア検討、有効性検討等）、実証実験に会員に協力していただき、住民目線での意見、アイデアやクリエイティビティーを、研究開発や街づくりに活かそうとするものです。けいはんな学研都市の地域住民を中心に全国から会員として参画いただいております、9月現在、その会員数も約1,000名に到達致しました。webによるアンケート調査や、新事業創出に向けた住民参加型のワークショップやアイデアソン等、活発な活動が推進されており、そこから出た知恵やアイデアは、後出の「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」の活動に活かされています。

■「けいはんな R&D イノベーションコンソーシアム」

RDMM 支援センターが主催・運営するコンソーシアム活動で、会長に大阪大学総長の西尾章治郎先生、副会長に推進機構の柏原理事長、技術運営員会委員長に京都大学の石田亨先生をお迎えし、平成29年9月現在、75会員（企業54社、他21会員）が参画しています。参画企業の優れた知の融合を図りつつ、新産業・新事業創出に向けたワーキング活動や共同研究開発プロジェクト等の取組を行っています。

（会員登録等は無償で提供しています。）

■本件に関するお問合せ：

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

RDMM支援センター（事務局担当：井上、浅井）

<https://www.kri.or.jp/rdmm/>

Tel : 0774-98-2230 / FAX0774-98-2202 / e-mail : rdmm@kri.or.jp

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7 けいはんなプラザ ラボ棟3F

(別添図)

各社が乗りあう実証実験内容例

